

環境

環境問題は人類共通の課題であり、企業が取り組むべき最重要課題と認識しています。シチズングループでは、商品、サービスを通じた環境負荷の低減に取り組み、製造段階だけではなく、お客様が使用される段階でも環境負荷を低減できる施策に積極的に取り組んでいます。

シチズングループの環境政策～環境経営の強化を目指して～

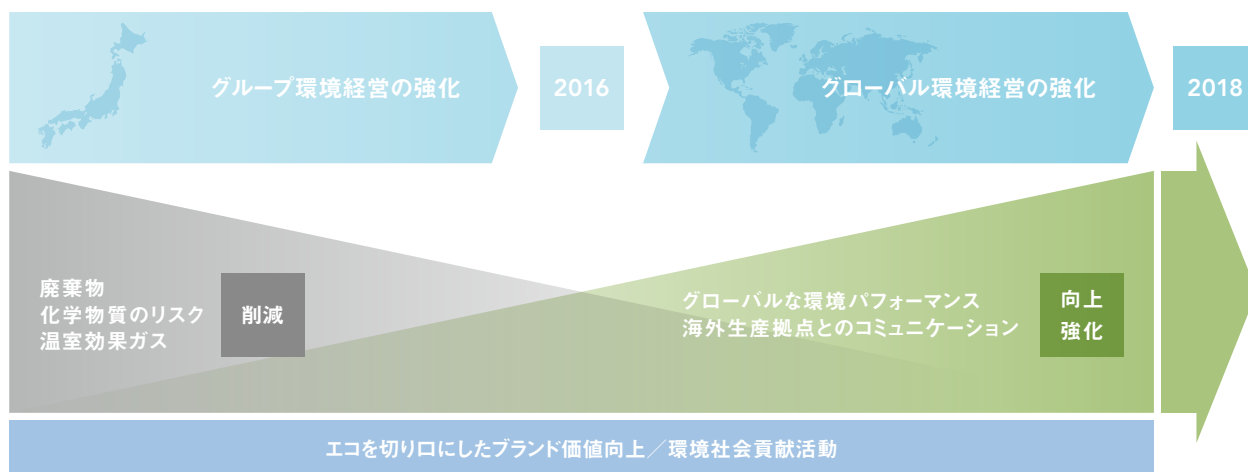
グローバルな視点による環境経営の強化を目指し2013年に策定した「シチズングループ環境中期計画2018」は、前半3年間で国内を中心とした「グループ環境経営の強化」、後半3年間で「グローバル環境経営の強化」とし、「シチズンエコ・アクション100」と呼ばれる活動プランのもと、活動プランを推進しています。

2015年度は、中期計画前期のまとめとして、国内では改正ISO14001対応を機に2017年度の認証取得を目指して、経営と環境の一体化を推し進めるグループ分科会を立

ち上げました。今後は環境マニュアルをグループ統一とし、トップマネジメントによる効率的な環境マネジメントシステムへの改善を進めています。海外については、海外拠点の環境パフォーマンス実績や取扱化学物質リストの把握を行い、2016年度の環境目標策定を進めるなど、グローバルな中期計画後期目標に向け土台づくりを進めました。2016年度はさらに国内のガバナンスの足場を固め、グローバル展開を推し進めます。

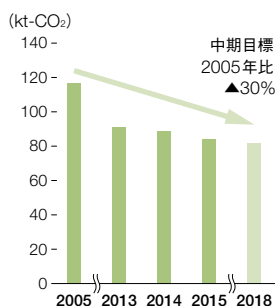
シチズングループ環境中期計画2018

環境経営の推進

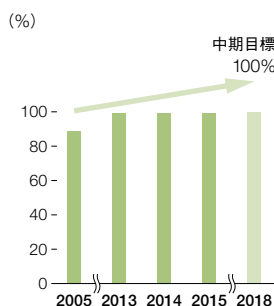


2015年までの国内実績と中期目標

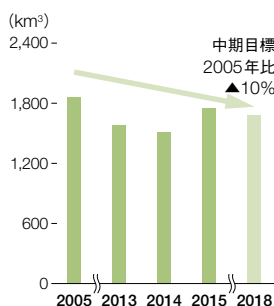
温室効果ガス排出量



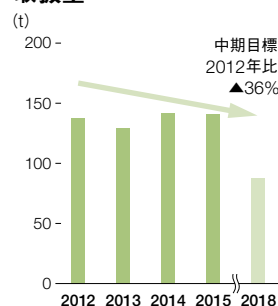
再資源化率



水使用量



PRTR法対象化学物質取扱量



■ 具体的な取り組み成果

時計製造工場でのCO₂排出量削減

シチズン時計マニュファクチャリングは、2015年度の環境目標の一つにCO₂の排出量削減を掲げ、国内主要5工場を中心に使用エネルギーの約91%を占める電力の削減活動に取り組みました。工場ごとに年度計画を立て、計画的に照明灯具のLED化、高効率な空調機器・コンプレッサーへの入替え、台数制御システムの導入など付帯設備の高効率化を図るとともに、製造現場では、コンプレッサー接続装置のエアリーク総点検の実施と対策、作業に最適な空気圧の調査と調整、グリーンカーテン設置など地道な活動を進めてきました。その結果、2015年度は2014年度と比較しCO₂排出量6.6%、量として2,131t-CO₂削減することができました。国内シチズングループ総CO₂排出量の約1/3を排出する会社として、今後も活動を進めていきます。

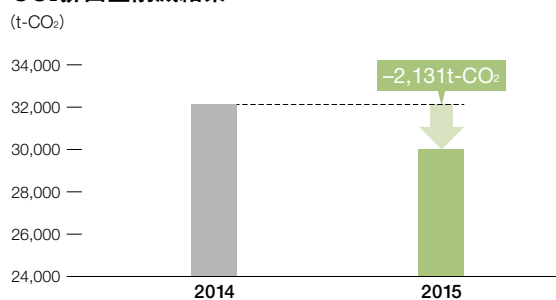
グローバル環境経営の強化に向けて

2014年のISO14001「グループ統一認証」体制後、統括会社メンバーとグループ環境事務局が合同で海外生産拠点の現地調査を行い、各拠点の環境マネジメント実施状況と環境パフォーマンスの実態を把握するとともに、現地スタッフとのコミュニケーション強化を進めました。今後も活動の核となる統括会社及び海外グループ会社のマネジメントスタッフと共に、国内だけではなく海外も含めた真のグローバル環境体制の構築に向けた活動を進めていきます。



エアリーク点検

CO₂排出量削減結果



海外生産拠点の現地調査の様子